



むらんど

2016~2017年度 国際ロータリーテーマ

ROTARY SERVING HUMANITY

「人類に奉仕するロータリー」

2016~2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム

室蘭岳

2016年10月25日(火) 第2163回 例会

第2510地区 日本 (DISTRICT 2510 JAPAN) ●会長: 徳永 賢二 ●幹事: 菅原 義男 ●編集: クラブ管理運営委員会

本日のプログラム

夜間例会『クラブフォーラム』

奉仕プロジェクト委員会
社会奉仕委員会

本日献立 洋食弁当

次回の予定プログラム

卓話『昨今、進学状況あれこれ』

加藤 栄吉 会員
クラブ管理運営委員会

※例会終了後、定例理事会を開催致します。

次週献立予定 中華ランチ(炸醬麵、スープ)

各種記念日

誕生記念日 山口 雄平 会員 10月23日

出席報告

会員数	42名	出席者数	22名
出席率	52.38%	欠席者数	20名

前回例会の報告

第2162回 (10月18日) 例会記録

会長報告

1. 吉田隆様の入会について、異議がございましたのでご報告致します。入会は11月です。
2. ロータリーの友「クラブを訪ねて」取材の件 11月8日(火)の例会は、ロータリーの友取材がございました。100%出席をお願い致します。例会終了後、会場を移動して集合写真を撮影いたします。
3. ポリオ撲滅チラシを職場に貼って宣伝をお願い致します。

END POLIO NOW

Rotary 国際ロータリー-2510地区

いまこそポリオ撲滅のとき

ポリオ(小児まひ)は、体がまひしたり、命を落とすことさえある病気で、

国際ロータリーでは、資金を集めたり、ワクチン接種をしたり、病室におたきで、ポリオの撲滅に取り組んできました。1988年、国際ロータリーは、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、アメリカ疾病予防センター(CDC)とともに、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)の発足に賛同しました。2013年から2019年の5年間は国際ロータリーは、ポリオ撲滅活動を推進計画として推進しており、今年最大の目標は、ロータリーを通じて16.8億人(アジア地域の約半数)により多くの子どもをキャンペーン中です。

野生ポリオウイルスによる感染が続いている国は1988年には128カ国でしたが、現在アフガニスタン、パキスタンの2カ国です(2014年8月現在)。0.1%まで減少した今撲滅しなければ二度と撲滅はできないと憂われています。国境を越えて人が行き来する時代、ほかの国にもウイルスが流入して感染が広がる可能性があります。ワクチン接種とポリオの監視活動を続けなければ再流行する危険性が薄れています。その最大の要因は資金不足です。ワクチン接種とポリオ監視体制維持には莫大な資金が必要となります。

ポリオ撲滅にご支援を

- 例会場 ホテルサンルート室蘭
- 事務所 室蘭市中島町2丁目28-6 (ホテルサンルート室蘭)
- 電話 0143-45-6569
- URL <http://murokita-rc.org/>
- 例会日 毎週火曜日 12:30 P.M.
- FAX 0143-50-6578
- E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp

前回例会のプログラム

移動例会「職場訪問」

(株)アール・アンド・イー登別事業所見学

- 12:25 例会開始
会食・バスにて移動
- 13:25 アール・アンド・イー
- 14:45 バスにて移動・解散

職業奉仕委員会
委員長 齊藤 俊一



職業奉仕委員会の職場訪問として、このたび登別市豊浦町に産業廃棄物処分の主力事業所をもつ、(株)アール・アンド・イー様を見学させていただきました。18名の会員がバスおよび自家用車にて参加しました。

事業所到着後、はじめにプレゼンルームにて約20分間のビデオ視聴による会社概要の説明を受け、その後、環境事業の浸出水処理施設およびシュレッターダスト(SR)の再資源化工場を視察、そして最後に構内をバスにて移動し、最新の安定型最終処分場を視察しました。

同事業所の敷地面積は約30万㎡と広大で、西胆振で最大の処分場です。しかし、同社では、廃棄物の再資源化及び最終処分場の延命化にこれまでも熱心に取り組み、さらに技術開発にも注力している姿勢を強く感じました。

参加された会員には同社と業務上関係ある会員もいましたが、実際に最終処分場を見た方は少なかったようで、非常に良い機会になったと感想を持つ方が多かったようです。



会社概要と所在地

所在地	〒100-0001 北海道札幌市中央区南一条西5丁目
代表者	代表取締役社長 齊藤 俊一 取締役 齊藤 俊一 齊藤 俊一 齊藤 俊一
事業内容	1. 土木建築業 2. 建設業 3. 建設機械のリース・レンタル業 4. 建設機械のメンテナンス業
加盟団体	1. 北海道建設業協会 2. 北海道建設業協会 3. 北海道建設業協会

事業所概要(豊別事業所)

敷地面積	約100,000㎡
処理能力	約100,000t/年
処理内容	産業廃棄物の処理・処分
処理方法	シュレッターダスト(SR)の再資源化
処理設備	シュレッターダスト処理設備
処理費用	約100,000円/トン
処理時間	約10日
処理開始	2010年

〒000-0002
北海道登別市豊浦町303-1
TEL, FAX 0143-80-2333 0143-80-2332

事業所概要(札幌事業所)

敷地面積	約10,000㎡
処理能力	約10,000t/年
処理内容	産業廃棄物の処理・処分
処理方法	シュレッターダスト(SR)の再資源化
処理設備	シュレッターダスト処理設備
処理費用	約100,000円/トン
処理時間	約10日
処理開始	2010年

〒001-1234
北海道札幌市中央区南一条西5丁目4-1
TEL, FAX 011-270-2020 011-270-2023